災害時のトイレ対策と音声コードの活用について

平井　玲子　議員

災害時のトイレ対策

質問 能登半島地震と同等クラスの地震が本市で発生した場合、想定される避難者数は地震翌日で最大約2万800人です。災害用トイレの備蓄状況は。

答弁 仮設トイレ等は5つの事業者との協定により調達、また一部マンホールトイレも整備しています。携帯トイレと簡易トイレは合計で2万8900回分を備蓄しています。

質問 群馬県が1台、大泉町が1台トイレトレーラーを配備しており、高崎市とみどり市がトラック型のトイレカーを今年度、配備する予定です。トイレトレーラーについて本市の検討状況は。

答弁 トイレトレーラーの購入に当たっては地方債の活用が可能であり、一定の優遇措置が講じられています。しかし、牽引する車両の購入費や車両の整備費用などの課題があり、導入を見送った経緯があります。

質問 本市では、災害時のトイレ確保・管理計画の作成はしていますか。

答弁 内閣府の避難所におけるガイドラインにおいて推奨されていますが、義務化されていないこともあり、本市においては作成に至っていない状況です。

音声コード「ユニボイス」の活用

質問 視覚障がい者へ音声として提供している本市の情報は。

答弁 広報、市議会だより、社協だよりです。今年度からホームページに声の広報の一部を掲載しています。

質問 「ユニボイス」はスマートフォンに無料専用アプリをインストールし、アプリ上で音声コードを読み込むと、内容が音声で流れる仕組みです。国においては、マイナンバー通知カードやねんきん定期便に貼付されています。導入の考えは。

答弁 今後導入が広がっていくものと推測していますので、導入に向け、調査研究は行っていきたいと考えています。

本市の農業の未来について

池森　のり子　議員

質問 農業従事者数の推移や年齢層について伺います。

答弁 直近の調査では、年齢層別世帯員数は1954人で、20年前と比べ減少傾向です。農業従事者の平均年齢は64・1歳で、こちらは上昇傾向となっています。

意見 農業従事者数の減少に歯止めをかけるには、農家の新しい形、半農半Xによる農家の働き方改革を進めるなど、時代に合った農業を目指していかなければならないと考えます。

質問 耕作放棄地の状況について伺います。

答弁 各地区に、農業委員と農地利用最適化推進委員がおりますので、日々の農地パトロールを実施し、農地の現状を把握するとともに、荒れ始めた農地の所有者または耕作者に対して適正な管理をするよう、お願いしています。

質問 安定した生産量と付加価値の高い農作物について伺います。

答弁 本市には、新鮮なキュウリとして、ブランド力がある朝獲りキュウリがあります。また、一般的なトマトに比べると甘く、厚い果肉とコクのある味わいが特徴のフルーツトマトがブリックスナインの名称で販売され、好評を得ています。市としては、多くの方が農産物のブランド化に取り組めるよう支援していきます。

質問 本市の農業の未来について伺います。

答弁 農業を取り巻く環境は非常に厳しい状況です。持続可能な農業の実現に向け、農業従事者が農業経営を続けられるよう、就農支援と農業全般の振興を図っていきたいと考えています。

要望 私は、農業経営を営んでいる方が、長く安定した農業を続けていけるよう、今後も応援していきたいと思っています。上毛新聞で安中市がオリーブを植え、耕作放棄地の解消と経営安定の両立を目指すという記事を見ました。安中市の補助金を参考に、本市における補助金の検討を要望します。